

高い木、登れたよ

河辺で
森の学校

秋田市河辺戸島の県森林学習交流館で三十一日、体験学習講座「森の学校」が行われ、親子連れ約四十人が木登りに挑戦した。同館主催。

木登り愛好団体の秋田木登りクラブ（村上幸志代表）と青い森（平井憲治代表）のスタッフらがロープの扱い方などを説明。はしごやロープを使って、約十㍍の高さのヤマナラシやクヌギの木登りに挑戦した。初めは恐々とした様子だった子どもも、慣れるにつれてスムーズに登れるようになり、笑顔ものぞいた。

土崎南小三年の小林奎太君は「近所の低い木には登ったことがあるけど、こんなに高

い木は初めて。ゲームより楽しい」とつっこり。会場では県森の案内人協議会（工藤正会長）のスタッフによる昆虫や野鳥をテーマにしたクイズも行われ、参加者は森林への理解を深めた。

真剣な表情で木登りに挑戦する参加者

